

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団

2022年度 「大学院進学支援〈あくなき探求〉奨学金」

募集要項

日本の大学院修士課程に進学して研究を深め、当財団設立者の理念を理解し、グローバルな視野で積極的に社会に貢献する日本人学生を募集します。

奨学生として採用された学生には、学部4年後期から奨学金を支給し、修士課程においては奨学金および各種の補助金を支給し、学業・研究に専念できるよう多様な支援を行います。

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団

<https://sisf.or.jp>

支援対象学生

日本の大学院修士課程進学が決定または内定した学部生であり、当財団が指定した大学が推薦し、当財団の選考に合格した日本人学生を対象とします。

応募資格

下記のすべてを満たすことが必要です。

- ① 日本国籍を有すること
- ② 2023年4月から大学院修士課程に進学が決定または内定していること※〔進学する大学院は在籍大学以外でも可。但し、関東7都県（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、茨城県、栃木県、群馬県）の大学院に限ります〕
- ③ 指定大学に在籍し、推薦を受けること
- ④ 研究目標が明確であり、修士課程修了後も博士課程で研究を続行する計画があること
- ⑤ 奨学金受給時期に、他の奨学金又はこれに類する金品を受給していないこと（貸与奨学金及び学費免除は可、但し学部4年次に給付型奨学金を既に受給している場合は5万円まで併給可。5万円を超える場合、給付奨学金受給者をご相談ください）
- ⑥ 学業・研究に支障のない英語力を有すること、あるいは目標をもって英語力向上に努めること
- ⑦ 当財団設立者（佐藤陽）の理念を理解し、グローバルな視野をもち社会貢献に積極的であること
- ⑧ 奨学生として採用された後、異文化交流を目的とする当財団の交流会（年6回、主に東京で開催、交通費支給）に必ず出席できること
- ⑨ 奨学支援期間終了後もSATOM（当財団の卒業生の総称）として財団の交流活動やネットワーク構築等に積極的に協力できること

※ 進学が決定または内定している大学以外に受験予定の大学がある場合、必ず申請書に記入すること。記入されていない大学の修士課程への進学は無効とする。

採用人数

3名程度

支援内容

全奨学生に奨学金を支給。さらに修士課程在籍の奨学生には申請に基づき補助金を支給。

- 1 奨学金 月額 80,000 円
支給期間 学部4年後期（2022年10月）から修士標準修業年限までの期間
支給方法 2ヶ月に一度、2ヶ月分を本人名義の口座に振込
- 2 補助金 修士課程奨学生を対象に申請に基づき、次の金額を上限に補助金を支給
 - ・授業料補助金 年額 60 万円
 - ・学会出席補助金 年額 20 万円（前年度未受給分の繰越し可）
 - ・活動費補助金 年額 50 万円

・自宅外補助金 月額3万円

応募方法

指定大学の担当部署より募集要項、応募書類を受け取り、必要な書類を大学担当部署に提出してください。応募に必要な書類は下記のとおりです。

(※は所定用紙使用、★は A4 サイズ 1 枚・ワープロ可)

- | | | | |
|---|-----------------------------------|--------|-----------|
| ① | 推薦書 | ※別紙①-1 | 大学記入 |
| ② | 申請書 | ※別紙①-2 | 申請者記入（自筆） |
| ③ | 指導教員推薦書（厳封） | ※別紙② | 指導教員記入 |
| ④ | エッセイ | ※別紙③ | 申請者記入（自筆） |
| ⑤ | 卒論テーマおよび概要と大学院進学後に研究したい分野および研究テーマ | | ★ |
| ⑥ | 大学院での研究計画書 | | ★ |
| ⑦ | 学業成績証明書 | | |
| ⑧ | 修士課程合格証明書 | | |

書類提出期限と提出先

期限： 大学が指定する期日
提出先 大学担当部署

選考及び採用

- ・ 書面選考 2022年10月中旬に指定大学宛てに結果を通知します。
- ・ 面接選考 2022年10月29日（土）又は30日（日）に東京にて実施
詳細は書面選考合格者に別途連絡します。
- ・ 結果連絡 11月中旬までに結果を通知します。
- ・ 認証式 2022年11月13日（日）開催（出席必須）

疫病や自然災害等で面接選考ができない場合は、書面により選考し、合格発表日を延期することがあります。その場合は、面接選考日の2日前までに大学宛に通知するとともにその後の措置を財団ホームページに掲載しますので、応募者は必ず財団ホームページにて最新情報を確認してください。

留意事項

当財団では、奨学生として守るべき「奨学生規則」を定めています。この規則に違反した場合、奨学金が停止されたり奨学生資格を失ったりすることがあります。事前にホームページで「奨学生規則」を確認し、よく理解したうえで応募してください。

個人情報の保護について

応募書類に記載された内容は、個人情報として取り扱い、奨学生選考の目的にのみ使用します。ただし、奨学金受給状況確認のため「合格者一覧」を大学及び他の奨学団体に提供することがあります。

大学院進学支援〈あくなき探求〉奨学金 推薦書

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団

代表理事 藤田 昌子殿

大学名:

推薦者氏名(及び役職):

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団の大学院進学支援〈あくなき探求〉奨学生候補者として、下記の学生を推薦致します。

名前		フリガナ				
生年月日		西暦表記	年	月	日	
学部・学科		学部	学科	年		
合格・内定済	進学先 大学院	大学院	研究科	専攻		
	進学先 研究室名		指導教員名			
上記以外の 大学院を受験 する場合		大学院	(合格発表:	年	月	日 予定)
		大学院	(合格発表:	年	月	日 予定)

記入年月日: 2022年 月 日

指定大学担当部署

住所			
担当部署名			
担当者氏名			
電話番号		FAX 番号	
E-mail			

申請書

受付番号

写真貼付 (カラー)

3ヶ月以内に撮影したもの

4.5×3.5 cm、上半身、正面、
脱帽、裏面に氏名を記入

氏名						
住所	〒 _____					
メールアドレス						
学歴	No.	期 間	学校名	課程	専攻科目	経歴
	1	年 月から 年 月まで	高校			卒業・中退
	2	年 月から 年 月まで		学・他		編入・入学 卒業・中退
	3	年 月から 年 月まで		学・他		編入・入学 卒業・中退
空白期間がある場合は、理由を記入						
資格・ 免許	受賞歴	学内で所属する教育プログラム				
		なし ・ あり プログラム名 期間： 年 月 ～ 年 月				
語学力 (語学資格含) ※記入必須			海外経験 (留学・居住)			
(英語) 例: TOEIC800点(2022年7月受験)			(その他の言語)			
国際交流、社会貢献活動の経験 (具体的に書くこと)			あなたの人間的な魅力が伝わる自己PR			
家庭状況	氏名		関係	年齢	現在の勤務先 (海外の場合は国名)・学校名 (学科)	
生計	家庭からの給付	仕送り、小遣い等	有 ・ 無			月額 円
	アルバイト等収入	仕事内容				月額 円
	住居	実家・一人暮らし・その他 ()	一人住まい・ ()人住まい		自己負担 月額 円	
奨学金等	受給中の奨学金等 有 (給付・貸与) ・ 無		名称	受給金額(月額)	受給期間	
	併願中の奨学金等 有 (給付・貸与) ・ 無		名称	発表日		
年間授業料	現在	円	授業料免除	・受けている(下記に記入) ・受けていない		
			免除期間	年 月 ～ 年 月		
	大学院進学以降	円	免除総額	直近の奨学金1年間総額を記入 円		
			授業料免除制度	・あり ・なし ・分からない		
研究助成金や学習奨励金等、授業料免除以外に経済的支援を受けている場合は下欄に記入(自由記入)						
(例)〇〇大学助成金:年額54万円						

推薦書

記入者	大学名	所属
	職名	連絡先 (TEL)
	氏名 (自署)	記入日 年 月 日

学生氏名 _____

1. この学生を何年指導していますか。 (年)

この学生との関わりを具体的に教えてください。((例)学部で社会学を指導している学生等)

2. この学生の研究者としての素養と語学力について教えてください。

3. この学生が当財団の支援を必要とする理由を分かる範囲で教えてください。

4. 推薦文(

※厳封にて提出願います。

※推薦書は選考において重視します。できるだけ手書きで記入してください。

家 庭 調 査 書

申 請 者	所 属	_____学群 _____学類 _____年次																		
		_____課程					_____大学院					_____研究群 _____年次								
	学籍番号										性別	男・女	現住所	〒 _____ TEL (_____)						
	フリガナ												家族住所	〒 _____ TEL (_____)						
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏 名	年齢	職 業	在職 期間	勤 務 先 名 称					給与所得の収入 金額 (税込)	給与所得以外の 所得金額							
		父				年						万円	万円							
		母					年						万円	万円						
		父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)																		
		主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)																		
							年						万円	万円						
							年						万円	万円						
							年						万円	万円						
							年						万円	万円						
	別 居 者 に ○ 印	就 学 者	続柄	氏 名	年齢	学 校 名	設置者別	学校種別			通学別	控 除 額								
本人					筑波大学	国立	/			※自 宅 自 宅外	万円									
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)			※自 宅 自 宅外	万円									
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)			※自 宅 自 宅外	万円									
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)			※自 宅 自 宅外	万円									
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無		/															
	障害者がある世帯		※有・無		続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()							万円								
	その他																			
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 (千円)					認 定												
	アルバイト		月額 (千円) 内容 (_____)					総収入金額		① 万円										
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 (_____)					必要経費		② 万円										
		申請中	月額 (千円) 団体名 (_____)					特別控除額		③ 万円										
	その他の収入		月額 (千円) 内容 (_____)					総所得金額		④=①-②-③ 万円										
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数 人										
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤ 万円										
	修得単位数または科目数							家計充足率		⑥=④÷⑤×100										

(注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
 2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
 (父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
 3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
 (父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
 4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
 5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあつては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあつては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。